

## カーボンフリーコンサルティング植林地情報 2009 年春 第 2 号

報告者 カーボンフリーコンサルティング

### 目次

1. 植林地に関する基本的な情報
2. 中国内蒙古自治区の植林地の報告
3. 北海道十勝千年の森について
4. 植林事業部統括ディレクター 原からのメッセージ

#### 1. 植林地に関する基本的な情報

植樹の場所：中国内蒙古自治区、北海道十勝千年の森

樹木の種類：中国内蒙古自治区 カラマツ、アンズ、ポプラ

北海道十勝千年の森 シラカンバ、ハルニレ、ヤナギ など現地に自生する樹種

植林開始日：2008 年春

植林地面積：中国内蒙古自治区 1,000,000 m<sup>2</sup>

北海道十勝千年の森 1,000 m<sup>2</sup>

期間：2008 年～2047 年までの 40 年間

#### 2. 中国内蒙古自治区の植林地の様子

4 月上旬現在の植林地は、まだ雪の残る地面が固く凍結しており、新規の看板を設置することはできませんでした。しかし、比較的暖かな陽気で、気の早いカラマツの苗木は新芽を出しているものも確認できました。”

カラマツは落葉樹なので、今回のご報告では緑色のない地味な写真ばかりですが、樹木 1 本 1 本に触れながらしっかり生育していることを確認してまいりました。”



(写真左：羊であふれる村の路地を植林地へと向かいます)



(写真中：植林地内で凍結した川)



(写真右：表層から 10 cm ほどで凍結した地面)

今回の内蒙古植林地視察では、主に下記の作業を行いました。

①” ドイツの炭素固定化基準「カーボンフィックス (CarbonFix Standard)」の審査のための調査

[jwr<1ly y y QectdqphzQpLq R tq kex0jvo n'](#)

②” 植林本数の確認調査

③” 植林樹木の活着率調査

①” カーボンフィックス (CarbonFix Standard) の審査のための調査

カーボンフィックスの審査基準を満たすためには、植林地面積の計測や緯度経度の確認をはじめ、現地村人へのアンケートや山火事発生時の防火体制など様々なレポートが必要となります。

今回すべての調査を終えることはできませんでしたが、広大な植林地と周辺の村落を回ることによって多くの有効な情報を得ることができました。



(写真左：傾斜計を用いて  
植林地付近に生育する樹木  
の樹高計測作業)



(写真中：樹齢10年のカラマツ)



(写真右：GPSによって記録した座標の打ち込み)

②” 植林本数の確認調査

2008年の春と秋に植林した2万本について、お客様にご利用いただいた樹木本数との照合を行いました。山の斜面に不規則に並ぶ苗木の全てをカウントし、分かりにくい箇所については管理番号札を新たに付与しました。

(写真左：成育中の  
落葉後の苗木)



(写真右：樹木管理札)



### ③” 植林樹木の活着率調査

本数確認と同時に約2万本のカラマツの生育状況を全数検査しました。山の斜面に広がる植林地に植えられた樹木を調査したところ、全体の活着率は9割以上と良好でした。

残念ながら活着しなかった苗木については、すべて2009年春の植林作業で新たな植樹の植え換えを行うとともに、その原因を調査することで今後の森づくりに役立てます。



(写真左：金網内の植林地 写真右：今後植林を広げる予定地)

### 3. 北海道十勝千年の森について

北海道十勝千年の森のカーボンフリーコンサルティング植林地は、現在雪に覆われております。春の雪解けを待って、各苗木の生長具合の確認を行います。

十勝の植林地では今年の秋にも植林ツアーを予定しております。体を実際に動かす植林作業は、自らと地球のつながりを肌で感じることでできる貴重な体験です。参加のご希望などございましたら直接カーボンフリーコンサルティングまでお問い合わせください。



(写真：2009年4月上旬の十勝千年の森)

---

#### 4. 植林事業部統括ディレクター 原からのメッセージ

##### 「春の訪れ」

現地も春を向かえ、少しずつ新緑に覆われ始めました。”

この冬の天候は不順で、例年であれば氷点下 52 度を下回る日もある 4 月に、42 度という異常な暖かさがあったかと思うと、5 月下旬からは真冬に逆戻りしたかのような厳しい寒さが続きました。現地の人々も口々に「地球の環境がおかしくなっている」と心配そうに話していたのが印象的です。この厳しい環境の下、苗木たちはどうなったのかとても気になるところです。”

現地から苗木が芽吹き始めたとの情報が入り、早速現場を訪れたところ、;2%以上の苗木が黄緑色の新芽を出し始めていました。カラマツの適応力の高さ、生命力の強さに改めて驚かされました。厳しい冬を乗り越えた苗木たちを、今後枯らすわけにはいきません。今後も注意深く見守っていく必要があります。”

---

#### 連絡先

住所： 〒220-8120  
神奈川県横浜市中区海岸通 3-9  
横浜郵船ビル3階  
カーボンフリーコンサルティング株式会社  
電話： 045-222-3400 F a x : 045-222-3401  
email : info@carbonfree.co.jp